

信大病院 21C

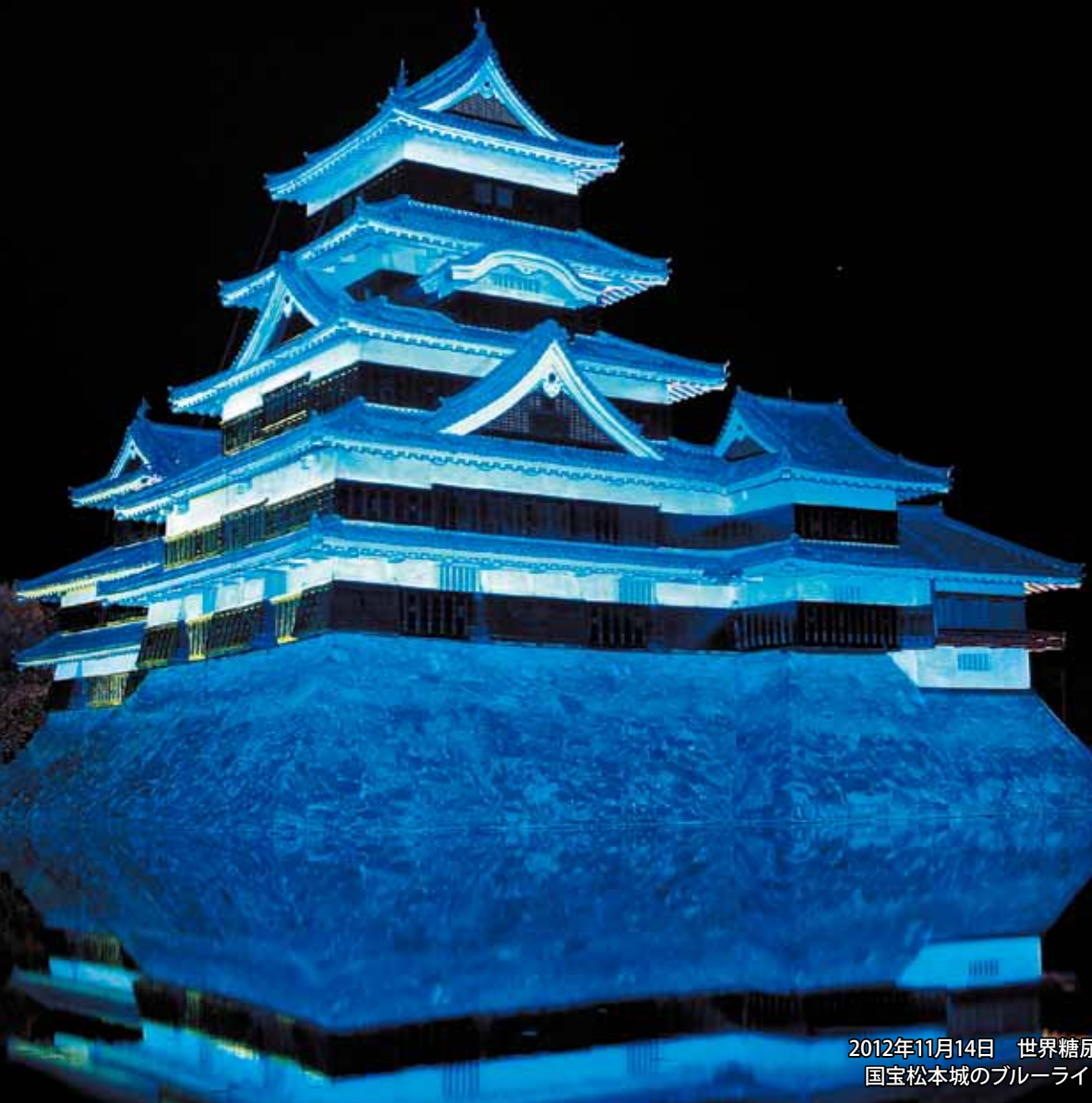
ハロウィンク



No.63
2012.12.6

基本理念

本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育成する。



2012年11月14日 世界糖尿病デー
国宝松本城のブルーライトアップ

主な記事

●樹状細胞ワクチン療法はどういう治療?	2~3	●東2階 病棟の紹介	6
●リレー・フォー・ライフ信州 in まつもとに 参加しました!	4	●「こころの相談」を始めました	7
●ハロウィンのイベントを開催しました	4	●ご意見函からの声	7
●信大病院ボランティア 活動紹介	5	●電話番号表・編集後記	8

樹状細胞ワクチン療法はどういう治療？

先端細胞治療センター（分子細胞診療室）センター長 下平 滋隆

先端細胞治療センターでは、病院の細胞・組織調製施設を活用して、骨や顎骨の再生医療、がんワクチンとしての樹状細胞療法の役割を担っています。近未来医療推進センター（西中央診療棟）内の分子細胞診療室において、樹状細胞ワクチン療法を行っています。

昨年のノーベル生理学・医学賞授与のスタインマン博士が1973年に発見した樹状細胞は、免疫システムにおいて中心的な役割を果たす細胞で、がんやウイルスを排除するようにリンパ球（細胞傷害性T細胞、ヘルパーT細胞など）に対して目印の情報を伝え、抗腫瘍作用を発揮します。スタインマン博士自身に膵臓癌が見つかり、自ら発見した樹状細胞を使った免疫療法を受けられていました。

樹状細胞ワクチン療法は、がん抗原（WT1やMUC1などのがん細胞の目印）を標的として、がんを攻撃させる免疫を起こさせる免疫療法の一つです。体の外で樹状細胞を大量に作製し、人工がん抗原を覚え込ませた上で体に投与する治療法です。

樹状細胞ワクチン療法では、まず、HLAという白血球の型が、人工がん抗原に適しているかをあらかじめ調べます。樹状細胞ワクチンを作るためには、3時間掛けて4Lの血液を処理し、単球という白血球の一種を含む成分を採血（成分採血）します。単球を1週間培養し、人工がん抗原が添加された樹状細胞ワクチンに改変させます。もし、がん組織が凍結保管されている場合は、そのタンパク抽出液を自分用の樹状細胞の作製に使うことができます。こうして作られた働きの高い樹状細胞ワクチンは、液体窒素の容器で凍結保管され、品質検査に合格したワクチンが治療に用いられます。樹状細胞ワクチンを脇（腋窩）および足の付け根（鼠径部）に皮内投与し、2週間隔で7回行い1コースの治療とします。

当院では、がん抗原を用いた樹状細胞ワクチン療法が、膵臓がん・乳がん・肺がん・胃がん・大腸がんの5疾患で先進医療の適応症となりました。樹状細胞ワクチン療法は、専門診療科の先生方のご協力の下で、標準治療（手術・放射線療法・抗がん剤治療など）の施行を前提として行います。「評価療養」制度としての先進医療は、その目的として承認技術の有効性および安全性を明らかにする必要があり、特定のがんの病期に応じて1コースの投与により個別に臨床効果を評

価します。

この治療ができるかの目安としては、介助なく身の回りのことができ、自力での歩行や軽い作業（家事など）が可能である状態であること、3時間以上の成分採血に耐えられる良好な心肺機能を有することが条件になります。他にもいくつかの実施条件があり、院外からの患者さんは、樹状細胞療法に関するセカンドオピニオンにおいて個別に適格を判断させて頂いております。

今後、患者さんにより良い治療をお届けするために、信大病院分子細胞診療室のチームとして努力して参ります。

■ 樹状細胞療法に関するセカンドオピニオンのご案内：
http://wwwhp.md.shinshu-u.ac.jp/patient/2ndopinion_jyujyou.php

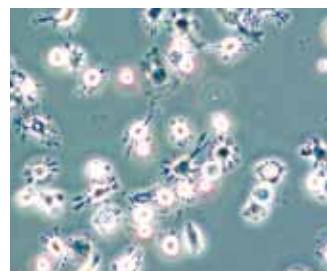
■ 先端細胞治療センター：
http://wwwhp.md.shinshu-u.ac.jp/shinryo/bumon/39_sentan_saibou.php



先端細胞治療センターのスタッフ



アイソレータでの作業にて



樹状細胞

先進医療とは

先進医療とは、厚生労働省が医療行為として未だ保険診療にいたらない先進的な医療技術について、安全性・有効性等を確保するために、医療技術毎にスタッフ・実績・医療安全等の定められた基準を満たす医療機関に対して、保険診療との併用を認める制度です。

この制度は、保険診療とは別に先進医療費（自費料金）をご負担いただくこととなりますが、診察・投薬・検査・入院料などは保険診療の取扱いとなります。先進医療実施のご相談は、各診療科の医師へお尋ねください。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご確認ください。

■ 厚生労働省 | 先進医療の概要について：

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuuhoken/sensiniryoo/index.html

(例) 医療費の総額が100万円であり、そのうち先進医療費用が20万円の場合

医療費の総額 100万円

先進医療費用 20万円 【自費：全額自己負担】	一般の診療と共通する部分（診察・投薬・検査・入院料等）80万円	
	一部負担金 【※3割の場合 自己負担：24万円】	各種健康保険制度からの給付 【自己負担3割の場合：56万円】

※高額療養費制度を利用する場合は、※の部分は減額される場合があります。

本院で承認を受けている先進医療

1. 膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション

診療科	整形外科
適応症	前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷
費用	49,200円

2. 骨髄細胞移植による血管新生療法

診療科	循環器内科、心臓血管外科
適応症	閉塞性動脈硬化症又はバージャー病（従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。）
費用	203,800円

3. 神経変性疾患の遺伝子診断

診療科	遺伝子診療部
適応症	脊髄小脳変性症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群
費用	36,800円

4. 残存聴力活用型人工内耳挿入術

診療科	耳鼻いんこう科
適応症	両側性感音難聴（高音障害急墜型又は高音障害漸傾型の聴力像を呈するものに限る。）
費用	78,600円

5. IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価

診療科	消化器内科
適応症	C型慢性肝炎（インターフェロン・リバビリン併用療法による効果が見込まれるものに限る。）
費用	13,200円

6. ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術

診療科	消化器外科
適応症	原発性若しくは転移性肝がん又は肝良性腫瘍
費用	348,000円

7. 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法

診療科	先端細胞治療センター（分子細胞診療室）
適応症	腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍（食道がん、胃がん又は大腸がんに限る。）、原発性若しくは転移性肝がん、膵臓がん、胆道がん、進行再発乳がん又は肺がん
費用	1,290,000円

8. 術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法

診療科	乳腺・内分泌外科
適応症	原発性乳がん（エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。）
費用	150円

リレー・フォー・ライフ信州inまつもとに参加しました!

医事課 宮島 悠

リレー・フォー・ライフは、がん患者やご家族、支援者（友人、医療関係者など）の皆さんが会場で24時間にわたって歩き、がん克服への願いを新たにし、絆を深め合うチャリティーイベントです。

このイベントは、アメリカ人医師が、がん患者を励まし対がん運動組織に寄付をする目的で、「がんは24時間、眠らない」「がん患者は24時間、がんと闘っている」をメッセージとしてグラウンドを走ったことから始まりました。

日本では、つくば市で初めて開催され、現在は全国に広がっています。今年は、松本市（9月1・2日やまびこドーム）と長野市（10月13・14日長野市城山公園など）でも開催されました。

本院も有志を募り、「リレー・フォー・ライフ信州inまつもと」に参加してきました。本院からは、2日間で延べ約120人の医師・看護師等が参加し、やまびこドーム内を歩いてきました。このリレーをとおして、がん患者の皆様との絆を深めることができたのではないのでしょうか。

また、松本蟻ヶ崎高校書道部のパフォーマンスや松本山雅FCのトークショーなど、楽しいイベントも行われました。

リレー・フォー・ライフは、来年も長野県で開催されますので、ご興味のある方はご参加ください。



ハロウィンのイベントを開催しました

東4階病棟 看護師 中島 久美子



平成24年10月30日（火）、小児科病棟にて毎年恒例のハロウィンのイベントが開催されました。

2週間ほど前から保育士さんを中心に、子供達の描いたポスターや、かぼちゃのイラスト、可愛いお化けの飾り付けをし、病棟はハロウィン一色となりました。

ハロウィンのイベントの開始は18時半、この時間を過ぎると病室から可愛いお化けやハチ、魔女などに仮装した子供達が飛びだしてきました。「トリック、オ

ア、トリート」と唱えながら同じ病棟に入院されている婦人科の患者さんの病室を訪問して、お菓子をもらいます。

医師や看護師も魔女に仮装したり、かぼちゃの帽子、ネコ耳など着け、子供達と一緒ににはしゃぎながら病棟を回りました。

普段、つらい治療をしている子供達も、この日は笑顔で溢れる一日となりました。訪問先の婦人科患者さんもカーテンを開け、仮装した子供達を見て楽しみながら同室の方と話をして過ごし、病棟中に笑い声が溢れた一日となりました。



信大病院ボランティア 活動紹介

医事課 中島 恵子

ボランティア懇談会 —17回目の感謝日—

毎年、秋に恒例となりました信大病院ボランティア懇談会も、今年も17回目の開催となり、9月20日に開催されました。信大病院のボランティア活動発足当時から、途切れることなく活動を継続して下さっているボランティアさんが2人と2グループいらっしゃいます。また、他のボランティアの皆さんも、この方たちに続く長きにわたる活動を続けられ、現在も定期的に病院に来て下さる約80人のボランティアの皆さんに向けて、改めて感謝の意を表した懇談会でした。

さて、当日はボランティアの皆さんのための希望により、医学部器官制御生理学・大橋俊夫教授の講演が行われました。お忙しい中、講師を快諾下さった大橋教授から、『元気の源』というテーマで1時間にわたり興味深いお話をお聴きし、生活の上で大変役立つキーワードをいくつも授けて頂きました。

「良い汗を上手にかくこと」「体のシーソーと心のシーソー」

「人間活動としてボランティアを行うことは理想である」

「学問を突き詰めると人の道に通じる」

「ケンドンの罪」—ツツケンドンになってはならない

「人は褒められて育つ」

大橋教授の話術に引き込まれ、笑ったり納得したり、心に栄養を頂いた1時間でした。最後に先生は17年間ボランティア活動を続けられる理由を尋ねられ、ボランティアさんは「生活のリズムを保つため」と答えていました。人のために良い汗をかくことが、心と体の調子を良好に保つのではないかと結論付けられました。一同納得！

手作りコンサート「天まで届け」

今年の暑い夏のこと、7月7日に外来ホスピタルモールの柱に大きな笹をくくり付け、七夕飾りをしました。そこを通る患者さんのたくさんの願い事で、枝がたわむほど見事な笹飾りとなりました。1ヶ月後の8月7日に笹飾りを降ろすにあたり、神様も心打たれるような患者さんの願い事が天に届くように、七夕の歌で短冊を送り出そうということになりました。

思えば急なコンサート開催の企画でしたが、信大病院ボランティアの皆さんが実力派の若者の存在に勇気を得て、果敢に「やろう！」

と即決しました。コンサートでの「いきなりコラボ」の演奏はもちろん楽譜もないため、それぞれに即興でバリエーションを加え、打ち合わせや練習はたった一回という手作り即席コンサートでしたが、いかがでしたでしょうか？

演奏曲目は、箏奏者であるボランティアさんにとって、昨年の大地震のことが頭から離れず、被災した方々が1日も早く平穏な暮らしを取り戻せるよう、そして未曾有の災害を忘れないように祈りをこめて東北地方の民謡変奏曲も弾いて下さいました。そして通常あり得ない箏+フルート+クラリネット+ヴァイオリン+手話という「いきなりコラボ」チームによる『七夕様』を集まって下さった皆さんで斉唱し、患者さんの大切な願いを神様に送り届けつつも、いや、届いたに違いないコンサートとなりました。



17年目の表彰を受けるボランティアさん



大橋俊夫教授の講演会



コンサートの様子は、ハミングNo.62の表紙になりました！

東2階 病棟の紹介

東2階病棟 看護師長 青柳 美恵子

東2階病棟は、耳鼻いんこう科・形成外科・救急科の混合病棟です。耳鼻いんこう科には、耳・鼻・のどなどの疾患で手術や点滴、放射線治療を受けられる患者さんが入院されます。聴く・においをかぐ・味わう・話すなどの機能が障害されると、自分の周りの状況把握や自分の思いを伝えることが難しくなります。言葉で伝えにくい患者さんの気持ちを出来るだけ汲み取りながら、不安の軽減や日常生活の工夫を一緒に考えていくようにしています。

また、喉頭を摘出し声が出せなくなった患者さんは、食道を使って声を出す方法を習得するという過程があります。この過程には、同じ経験をした患者さんがボランティアで指導してくださっています。

形成外科には、先天異常・外傷・手術による切除などにより損なわれてしまった組織を、正常に近い形や機能回復を図る手術が行われています。救急科の患者

さんは急性期からの回復をめざし、救命センターから移られてきます。突然の受傷という辛さ、少しでも回復したい、機能を残したいという患者さんの思いを支える力になればと思っています。

東2階病棟は子供さんの入院も多く、本の読み聞かせや折り紙教室など、ボランティアの方にも協力をいただいています。子供たちの楽しそうな様子を目にすることは私たち看護師の元気の基となっています。

若いスタッフが多く、患者さんから学ばせていただいている日々ですが、患者さんやご家族の思いを理解して一緒に歩めるよう、医師からの説明時には可能な限り同席しています。また、毎朝カンファレンスもち、チームで力を合わせてよりよい医療を提供できるように努めています。



「こころの相談」を始めました

医療福祉支援センター 臨床心理士 高橋 まり子

がんの患者さん、ご家族を対象に「こころの相談」を行っております。療養中に不安でつらいと思うことや、病気や生活、人間関係などで悩んでいることがありましたら、臨床心理士に話してみませんか。

「こころの相談」では、臨床心理士がゆっくりとお話を伺い、一緒に考えていく中で、今までとは違う見方や考え方に気づいたり、新しい可能性を探していくお手伝いのできたらと考えています。

「こころの相談」は予約制です。予約のない場合は、お待たせすることがありますので、ご了承ください。

ご相談いただいた内容をご本人の許可なく他の方に伝えることはありません。相談は無料です。



【こんなときにご相談ください】

- 不安でつらい
- 気持ちが落ち着かない
- 混乱している
- 落ち込んでいる
- 誰かに気持ちを話したい
- 誰に相談したらいいのかわからない
- 悩みを整理したい など。

また医療福祉支援センターでは、

- 医療福祉相談
- がん相談

などについても、相談をお受けしています。

内容は、医療費・生活費などの経済的な相談、社会福祉制度の相談、がんに関する相談（がんの治療、今後の療養や生活のこと）などです。

お気軽にご相談ください。

※臨床心理士とは心理学に基づく知識や技術を用いて、こころの問題にアプローチする専門家です。

〈お問い合わせ先〉

連絡先：信州大学医学部附属病院
医療福祉支援センター 担当：臨床心理士 高橋まり子
電話番号：0263-37-3370
受付時間：9:00～16:00
場所：外来棟1階中央受付①番 相談室

ご意見函からの声

Q 外来の会計に
時間がかかりすぎる。



A 外来診療の会計計算に時間がかかりお待たせすることになってしまい、大変申し訳ございません。

外来の会計につきましては、その日の診療内容を確認のうえ会計をしておりますが、診察内容により診療科と確認、連絡が必要な場合があり時間がかかっております。

また、診療の終了が集中する時間帯では混雑してしまい、お待たせすることになっておりますが、混雑時には担当者の配置を増員するなどして、速やかに会計ができるよう対応していきますので、今後ともよろしく願いいたします。



電話番号表 (市外局番 0263) 代表番号：35-4600

【診療科外来】

南1階	小児科	37-2776	南3階	眼科	37-2789	リハビリテーション部(理学療法)	37-2836
	遺伝子診療部			耳鼻いんこう科	37-2791	リハビリテーション部(作業療法)	37-3399
	先端心臓血管病センター			産科婦人科	37-2793		
	循環器内科			皮膚科	37-2778	通院治療室	37-2552
	整形外科			消化器外科		医療福祉支援センター	37-3370
脳神経外科	移植外科	37-2781	高度救命救急センター	37-2222			
南2階	呼吸器・感染症内科		小児外科			37-2783	胸痛センター
	消化器内科		呼吸器外科	内視鏡センター			37-2803
血液内科	37-2768	乳腺・内分泌外科	37-2846	外来予約センター	37-3500		
腎臓内科	37-2770	麻酔科蘇生科		臨床試験センター	37-3389		
脳神経内科	37-2773	形成外科	37-2787	移植医療センター	37-2930		
リウマチ・膠原病内科	北3階	精神科	37-2796				
糖尿病・内分泌代謝内科		子どものこころ診療部	37-3381				
内科総合外来		特殊歯科・口腔外科					
放射線科		泌尿器科					

【医事課】

収入係	37-2763
入院係	37-2759
外来係	37-2757
医療福祉係(診断書)	37-2762

【病棟スタッフステーション】

西病棟		階	東病棟	
【先端心臓血管病センター】 循環器内科 心臓血管外科	37-2777	8階	糖尿病・内分泌代謝内科 乳腺・内分泌外科	37-2769
脳神経内科、脳神経外科 リウマチ・膠原病内科	37-2774	7階	消化器内科、血液内科 腎臓内科	37-2771
皮膚科 泌尿器科	37-2788	6階	【呼吸器センター】 呼吸器・感染症内科 呼吸器外科	37-2784
消化器外科 移植外科、小児外科	37-2782	5階	眼科、脳神経外科 麻酔科蘇生科	37-2790
産科婦人科 新生児科(NICU・GCU)	37-2772	4階	小児科 婦人科	37-2794
精神科 子どものこころ診療部	37-2775	3階	整形外科	37-2786
放射線科、消化器外科、移植外科 小児外科、特殊歯科・口腔外科、RI 消化器内科、救急科	37-2780	2階	耳鼻いんこう科 形成外科	37-2792
くすりの相談室	37-3013		地域医療連携支援室	37-3370
総合医療相談室	37-3370		難病相談支援センター	34-6587
がん相談	37-3045		難聴児支援センター	34-6588
セカンドオピニオン外来	37-3111		肝疾患診療相談センター	37-2922



☆相談窓口☆

受付時間：月～金（祝除く）
9時～16時

編集後記

現在は、男性・女性問わず2人に1人はがんになる時代とされています。平成18年に「がん対策基本法」が成立し、19年から施行されました。5年後の今年見直しがされ、「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」が全体目標として追加されました。当院においても、信州のがん医療の拠点として、「信州がんセンター（仮称）」が立ち上がります。がんと診断された時から支援できる体制ができることを期待し、また、参加したいと思います。（広報室委員 根井 きぬ子）

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、
ctc@shinshu-u.ac.jp へお送りください。
写真は2MB以上5MB未満のjpgデータ

【お問合せ・応募宛先】
信州大学医学部附属病院 総務課 卒後臨床研修係
TEL：0263-37-3050
※応募はメールのみ受付